

## 「ロータリー塾出席者による発表」

フェロシップ推進委員会  
中村 浩一委員長

### < 榎 智雄会員 >



ロータリークラブの詳細や活動など全く知らずに入会して3年目になりますが、ロータリー塾に参加させて頂いた事で、改めてロータリーとは、ロータリアンとはなどロータリーについて自ら意識させて頂ける機会を頂けたのだと思います。今後はロータリーの目的を意識し、仲間とともに自らの資質を向上し活動していきたいと思っています。

### < 小林雄介会員 >



ロータリーには歴史があることがわかりました。

118年の歴史があるってすごいこと。ポールハリスが1905年にたった4人で設立された。

1920年東京ロータリー誕生

1969年(昭和44年)5月7日設立総会 5月14日 承認 姫路西ロータリー誕生

チャーターメンバー32人によって設立された

初代会長 榎本彰氏、幹事 伊賀久雄氏

今は2023年なので54歳のべ会員数で289名(50周年当時)

当時は吉田組の3階が例会場

昭和60年7月から昭和61年10月まで青山ゴルフクラブ

昭和61年11月からサンシャイン青山

令和5年～ホテル日航

当事務所は昭和47年8月26日に先代が創業され50年の歴史があると自負しておりましたが、それどころではない。

中国のことわざに10年偉大なり20年恐るべし、30年歴史になる50年神のごとし  
神以上の存在に

何が継続させているのか?

「理念」 ロータリーの綱領(物事の基本的なところ・要点)にあり

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹(意見や思想を主張し相手に知らせる)し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。

この文章が一番心に残りました。

20 世紀初頭の社会は一言でいえば金銭獲得を目的とした個人と個人との線損競争の時代でした。その中であっていかにかに企業を成功させるか、一時的な金儲けではなく、永続的に企業を成功させる。PERMANENT SUCCESS の道を模索することが最も重要なことでした。そのためにはどんな職業でも信用を得ることが一番の条件でした。

ロータリーではそれを相手の身になって考え決して金銭獲得を直接の目的としてはならない。そういう経営努力を長年続ければそれが信用と信頼を生んでくれる。

わかりやすく言えば拝金主義を否定し、相手の立場を尊重する考えが「奉仕の理想」であり、それを厳しい商売という打算の世界に通用するところにロータリーの本領がある。

私にとってロータリーは「奉仕と親睦」に「自身の充実」を付け加えるとしっくりする気がします。

このような機会をいただきありがとうございました。

### <桂 史郎会員>



「姫路西ロータリークラブに入会させていただき 3 年目となります。第 1 回ロータリー塾に参加させて頂き、ロータリー活動（社会奉仕活動）とは何なのか、を考えさせられるよい機会となりました。当ロータリー登録業種が、「建築・リース」ということもあり、事業を通じて、これまで貢献をさせていただいたつもりですが、今ロータリーの課題の一つでもある会員増強ということについて、当ロータリークラブの一助となるよう、取引先の代表または友人へ勧誘する意識も持ちつけ活動をしてまいりたいと思います。引き続きご指導のほどよろしく願いいたします。」

### <田寺宣文会員>



当日は、三宅会長、中村さん、赤西さん、辻さん、乾杯で新さん、皆さん、大変、ためになる素晴らしいお話をしていただいたかと思いますが、私が最も印象に残ったのが、中締めで、永岡さんが言われた「難しいことはその都度覚えたらいいから、創始者のポールハリスだけは覚えて帰りなさい」と心強いお言葉をいただきました。

私はすぐに、アマゾンで調べたら「ポールハリス物語」という本が、500円で売っていたので購入しました。

皆さんは、よくご存じだと思うのですが、

彼は 3 歳で両親が破産、19 歳で暴行事件で大学を退学、その後 23 歳で弁護士資格を取得後、5 年間の放浪の旅に出て、なんだかんだで、36 歳の時にシカゴロータリーを創立。

78歳で亡くなっているのです、人生の半分以上をロータリーの礎を築くことに尽力された方だと大変勉強になりました。

ポールハリスが目指した、「Service Above Self」の精神というものを意識しながら、微力ながらロータリ活動に取り組んでいけたらなと思いました。

中村さんをはじめ、レクチャーいただいた皆さんありがとうございました。

引き続いてのご指導どうぞよろしくお願いいたします。

#### <近藤尚紀会員>



ロータリー塾では、ロータリークラブの長い歴史と、グローバルな広がり、クラブそのものの意義について、大変勉強になりました。私の勤務する会社は、地域との協力関係のもとに、人々の生活に欠かせない鉄鋼製品を生産しております。私自身、このような「ものづくり」の仕事にやりがいを感じつつ、自分たちの事業が社会に貢献できるよう常に意識をしながら仕事を進めているところです。今後、ロータリークラブでの活動を通して、社会奉仕への意識をさらに高めていきたいと思えます。

#### <辻田貴志会員>

ロータリー塾は、非常に有意義な時間だったと思えます。今までロータリーの歴史、考え方について教わる機会は、殆どなかったため、今後の参考にさせていただきたいと思えました。また、先輩ロータリアンの熱い想いを知ることができたことは、今後のロータリー活動の励みになります。